

製品名: RAPGEF5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87658**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:68-75 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAPGEF5
別名	GFR; REPAC; MR-GEF
遺伝子 ID	9771, 217944, 362799
SwissProt ID	Q92565, Q8C0Q9, P83900
免疫原	ヒト RAPGEF5 の合成ペプチド

背景

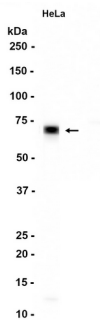
RAS (HRAS 参照; MIM 190020) サブファミリーに属する GTPase は、シグナル伝達において、GTP/GDP 制御スイッチとして機能

し、不活性 GDP 結合状態と活性 GTP 結合状態を切り替えます。RAPGEF5 などのグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) は、活性 GTP 結合状態を維持するために GTP の獲得を促進することで RAS 活性化因子として機能し、細胞表面受容体と RAS 活性化を繋ぐ重要な役割を担っています (Rebhun et al., 2000 [PubMed 10934204])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]

研究分野

-

画像データ



RAPGEF5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。